



〔撮影場所;門司区大積〕

ニレ科 アキニレ (秋楡) <別名//カワラケヤキ、イシケヤキ> 落葉広葉高木 樹高10~15m

近年街路樹として採用例の増えている樹種である。

花が8~9月頃に咲くことによりアキニレの名がつく。(北九州では10~11月頃花をつけている)

樹形がケヤキに似ているため、カワラケヤキ、イシケヤキとも呼ばれる。

葉は径が3cm程度の小判型で、光沢があり、縁に鈍鋸歯がある。高木にしては葉が小さく密につくのがこの種の特徴で、そのため枝葉の視覚的な透過度が高い。成長は遅いが、大気汚染に強い。



紅葉

街路樹としての代表的路線
門司区 大積柄杓田1号線



花と幹肌
写真(上)の黄色い部分が花



幹肌が鱗状に剥がれるのはケヤキと同じ

八幡西区 県道引野穴生線